



10日投開票の県議選は各候補者の舌戦が続く。東三河地方では5選挙区に20人が立候補。県政の課題や東日本大震災を受けた論争とは別に、20人の候補者の政治への思いや信条、趣味などを紹介する。初回は豊橋市選挙区の9人。豊川市、新城・北設楽郡、蒲郡市、田原市の4選挙区計11人は近く掲載する。

(東三河統一選取材班)

## 県議選 候補者の横顔

豊橋市 (定数5)



渡会 克明さん(58)  
＝公現

### 福祉政策充実訴え

豊橋東高校を卒業後、創価大に進学。東京で衣料品関係の会社員として働いていたが、会社の倒産を機に30歳で藤ノ花学園の職員になった。

「低所得者にも優しい社会を実現したい」と政治の世界に飛び込

んだ。心の病を抱える人への支援といった福祉政策の充実も訴える。県議は3期務め、党県幹事長代行や政策局長などを歴任。趣味は仕事が終わる深夜に映画を見ること。「あすへの英気を養う大切な時間です」